

令和3年度

八幡高等学校 学校評価

本年度の重点目標

- ・教員の授業力の向上、生徒の学習習慣の定着等により、学力向上を図り、希望進路を実現させる。
- ・部活動、学校行事、HR活動等を通して調和のとれた人格形成を行い、自主性、協同する態度、困難に耐える力を育成する。
- ・健康で規則正しい生活態度を確立するとともに自尊感情、優しい思いやりの心、感謝の心を育成する。
- ・学校の目標や生徒の活動の様子を広く説明し、家庭や地域と連携を図り、開かれた信頼される学校づくりを推進する。

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	学校は、教育目標「人格の陶冶、学力の向上、心身の練磨」の実現を目指した学校経営を行っている。	B	B	A
	学校は、ホームページやメール配信により、適切な情報発信や広報を行っている。	B	B	A
2 学習指導	学校は、生徒が高い志を持ち、学習に主体的に取り組む姿勢を育てている。	B	B	A
	学校は、日常の授業や補習等を通じて、生徒の学力の伸長に取り組んでいる。	B	B	A
3 生徒指導	学校は、生徒の基本的な生活習慣の確立と礼儀やマナー等の規範意識を育成している。	B	B	B
	学校は、規律ある校風をつくるとともに、生徒の服装等の身だしなみや言葉遣いを整えさせている。	B	B	A
	学校は、いじめ防止基本方針にのっとり、生徒のいじめの未然防止や早期発見に努め、適切に対応している。	B	B	B
4 進路指導	学校は、計画的な進路指導やガイダンスにより、生徒の進路希望の実現に取り組んでいる。	B	B	A
	学校は、適切な情報提供や面談などをとおして、生徒にきめ細かな進路指導を行っている。	B	B	B
5 特別活動等	学校は、部活動や課外活動を通して、生徒が充実した学校生活を送れるよう取り組んでいる。	B	B	A
	学校は、ホームルーム活動や生徒会活動を通じ、生徒が自主性や自立心の伸長に努めている。	B	B	A
6 学校図書館	学校は、蔵書の充実を図り、生徒の図書館利用を活性化させる取組を行っている。	B	B	B
	学校は、生徒に対して、読書の楽しさや意義を知らせ、自ら学ぶ意欲を喚起している。	B	B	B
7 保健・安全指導	学校は、生徒の心身の健全な発達のため、「保健だより」の発行や個別指導による健康教育に取り組んでいる。	B	B	B
	学校は、生徒の健康管理、病気予防の啓発に努めている。	B	B	A
8 人権教育	学校は、身近なところから生徒の人権尊重意識を高め、豊かな人間関係づくりに取り組んでいる。	B	B	A
	学校は、生徒が互いの立場を尊重し、明るく生き生きとした学校生活を送れるよう努めている。	B	B	A
9 環境教育	学校は、清掃活動および舎外清掃等を通じて、環境美化に努めている。	B	B	A
	学校は、生徒の環境意識を高める教育を行い、節電・節水などの省資源に取り組んでいる。	B	B	A
10 事務・管理	学校は、施設・設備を点検管理し、教育環境の整備に取り組んでいる。	B	B	A
	学校は、個人情報の管理徹底と文書の適切な管理を行い、情報公開に対応している。	B	B	A
11 その他 学校の取組み	学校は、PTA活動等を通して、地域や保護者と適切な関係を構築するように努めている。	B	B	A

- (注) ・評価表の見方： 6月 学校の教育目標に基づいた評価項目の公表  
 10月 中間評価(自己評価)の公表(8月までの教育活動に対する中間評価) A B C Dの4段階評価で示す。  
 3月 総合評価(自己評価・学校関係者評価)の公表(年間の教育活動に対する総合評価) A B C Dの4段階で示す。  
 ・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。  
 ・A B C Dの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合(達成度80%以上)はA、おおむね達成できた場合(達成度60%以上80%まで)はB、あまり達成できていない場合(達成度40%以上60%まで)はC、達成できていない場合(達成度40%未満)はDとする。